



2学期もありがとうございました

学期末には全国的にインフルエンザが流行し、本校も3学級を閉鎖しましたが、全体的に見れば、学習発表会や持久走大会、学年ごとの校外学習等の大きな行事を行うことができた2学期でした。

12月22日（金）には、全校児童が体育館に一堂に会し終業式を行いました。終業式では、これから冬休みを迎える子供たちに、次の2つのことをお願いしました。



① 家の仕事をしてほしい

年末年始は、おうちの方もたいへん忙しい時期です。家族の一員として、自分にできる仕事をしてください。

② 新しい年の目標を決めてほしい

「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。勉強でも、運動でも、生活に関することでもいいので、頑張って続けたいと思うことを決めてください。

夏休みに比べると、2週間余りの短い冬休みですが、やろうと思えばいろんなことができます。有意義に過ごしてほしいと思います。新年1月9日（火）に、また元気な子供たちに会えることを楽しみにしています。

緊急メールの登録をお願いします（再）

少し古い話になりますが、12月5日にありました「焼野地内で、仔クマらしき動物1頭の見撃情報」の折には急な連絡にもかかわらず、保護者の皆様には対応していただき、ありがとうございました。11月17日の「高儀駅前の交差点のクマと思われる動物の見撃情報」のときも同様、子供たちがもうすぐ下校という時間帯に市や警察から連絡が入ったことで、学校も大変慌てました。5日の対応としましては、校内の児童に放送で指導する、テトルで保護者や地域に情報を流すとともに、該当の東部地区のスクールバスに教員が複数名同乗しバス停で迎えに来られた保護者に引き渡したり、迎えのない児童を家まで送り届けたりしました。また、該当地区の徒歩通学児童の家庭に電話連絡し「家に帰らせてよいのか」「学校に留め置きが必要はないのか」等の確認をしました。このような対応でよかったのかどうかは疑問ですが、大事はなかったので一安心しました。

クマの出没に限らず、天候の急変や不審者対応等、緊急時の対応をお願いすることは今後も無いとは言えません。このようなときに大切なことが緊急情報を知るということです。しかし、学校からテトルで連絡を送っても、なかなか既読数が増えないの

は今回だけの話ではありません（それもそのはず、日中、皆さん働いておられます。必ずしもスマホを携帯しておられる人ばかりではありませんから）。

そこで、保護者の皆様、地域の皆様に再度お願いです。一家族1名はテトルの登録をされていると思いますが、できるだけ大勢の方が登録を行ってください。緊急時に家族の誰か一人でも緊急メールに気付いていただければ対応してもらえらると思います。また、学校も市や警察からの連絡で緊急情報を得てからテトルで発信しています。保護者の皆様自身が市や警察の緊急メールを直接受け取れるように設定してもらえれば、いち早く緊急時に対応できるようになります。

万が一の事態に備えて、ぜひご協力をお願いします。登録については、これまでの校長だより等を見てもらえば分かると思いますが、分からないことがあれば学校にお問い合わせください。

人権擁護委員の読み聞かせ

12月4日（月）～10日（日）は『人権週間』でした。地域の人権擁護委員の方に来ていただき、8日（金）には1～4年生が『種をまこう』という副読本の中から「友達への思いやり」「人権」等について、19日（火）には5年生が『昨年度の全国中学生人権作文コンテスト』で入選した作品の中から、軽い気持ちで行っている「いじり」が受け手からすると重い「いじめ」になっているという作文について、読み聞かせをしていただきました。



残念ながら、本校でもいじめ事案があります。その多くが悪気なしに友達を困らせトラブルになるというものです。毎学期のいじめアンケートで「誰かから、嫌がることを言われたり、されたりしたことはありますか」と回答している数に比べ、「誰かに対して、嫌がることを言ったり、したりしたことはありますか」と回答している数が非常に少ないです。いじめの被害児童がいれば必ず同数以上の加害児童もいるはずなのに不思議な話です。この数からも、いじめであると意識しないで行っている行為が、被害を受けている子からすると、いじめになっていることが分かります。

今回、子供たちは、人権擁護委員の方が読まれるお話を真剣に聞いていました。これを契機に、自分の言動を振り返り、思いやりの気持ちをもって他者に接することができるようになればうれしいです。

養護教諭の変更について

育児休業をとっていた石田里奈養護教諭が3学期から復帰します。これに伴い、4月から保健室を守ってくれた中町未悠養護助教諭の勤務が終わります。今年はコロナが落ち着いたとはいえ、運動会前後の胃腸炎他感染症、2学期のインフルエンザ等かぜ症状、日々のけがの手当てから子供たちが大変お世話になりました。石田養護教諭と中町養護助教諭の間で十分引継は行いますが、心配なことがあれば、直接伝えていただいても構いません。



（校長 曲 師 政 隆）